

2015年基準 消費動向指数 (CTI)

2018年 (平成30年) 〇月分

消費動向指数は、家計調査の結果を補充し、消費全般の動向を捉える分析用のデータとして総務省統計局が開発中の参考指標です。家計消費指数を吸収するとともに、単身世帯を含む当月の世帯の平均的な消費、家計最終消費支出の総額の動向を推計しています。

◎ 概況

世帯消費動向指数 (総世帯) は 2015年を100として 名目 **. *. *, 実質 **. *

前年同月比は名目 *. *%の〇〇 実質 *. *%の〇〇

前月比 (季節調整値) は名目 *. *%の〇〇 実質 *. *%の〇〇

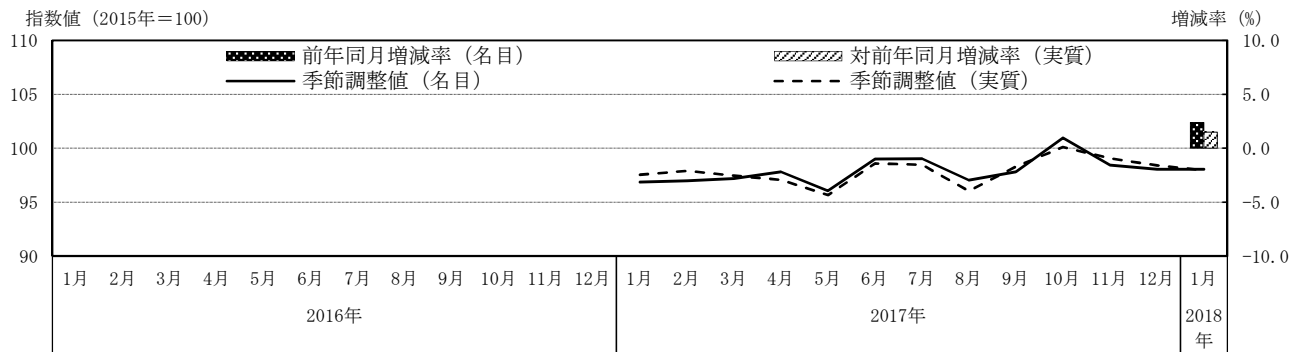
分布調整値は 実質 **. *

前年同月比は実質 *. *%の〇〇 前月比 (季節調整値) は実質 *. *%の〇〇

総消費動向指数は 実質 **. *

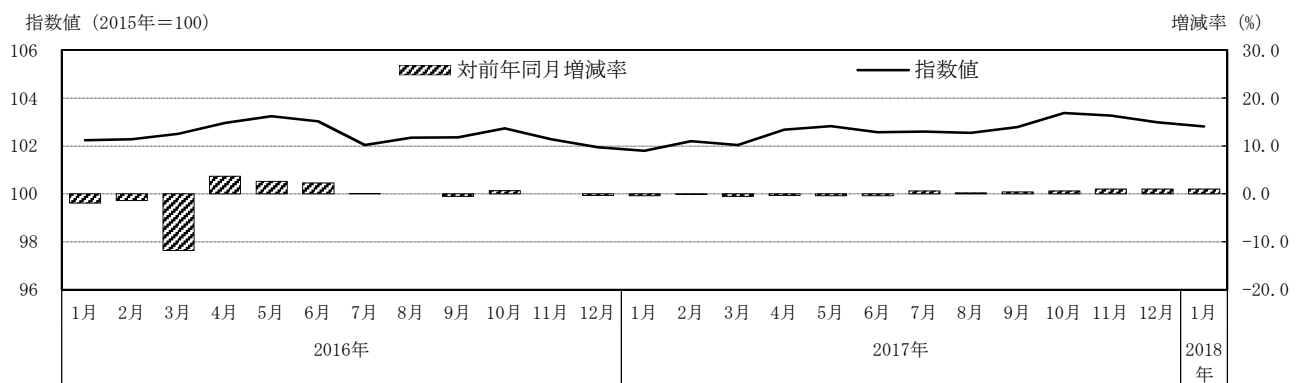
前年同月比は実質 *. *%の〇〇 前月比は実質 *. *%の〇〇

図1 世帯消費動向指数 (総世帯) の推移



2017年													2018年
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
対前年同月増減率 (%)													
名目値													
実質値													
分布調整値													
季節調整値													
名目値													
実質値													
分布調整値													

図2 総消費動向指数 (実質) の推移



2017年													2018年
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
指数値													
対前年同月増減率 (%)													

◎ 主要結果（2018年〇月分）

2015年=100

	名目値			実質値		
	指数 (当月)	増減率(%)		指数 (当月)	増減率(%)	
		対前年同月比	対前月比 (季節調整値)		対前年同月比	対前月比 (季節調整値)
世帯消費動向指数						
総世帯						
食料						
住居						
光熱・水道						
家具・家事用品						
被服及び履物						
保健医療						
交通・通信						
教育						
教養娯楽						
勤労者世帯						
分布調整値						
勤労者世帯						
二人以上の世帯						
勤労者世帯						
単身世帯						
総消費動向指数						

注1 季節調整値とは、原数値から季節要素を除去した指数である。算出にはセンサス局法（X-12-ARIMA）を用いている。
注2 総消費動向指数の対前月比は原数値を用いて計算している。

【消費動向指数（CTI）の概要】

消費動向指数（CTI）は、次の2つの指標体系で構成されています。

①世帯消費動向指数（CTIミクロ）

世帯の消費支出の平均額の推移を示す指数です。世帯における当月の消費支出の平均額について基準年（2015年）の消費支出の平均月額を100とする指数で表しています。費目別の値は当該指数値の内訳となっています。毎月の家計調査の結果に、家計消費状況調査及び家計消費単身モニター調査の結果を合成した支出金額によって作成しています。

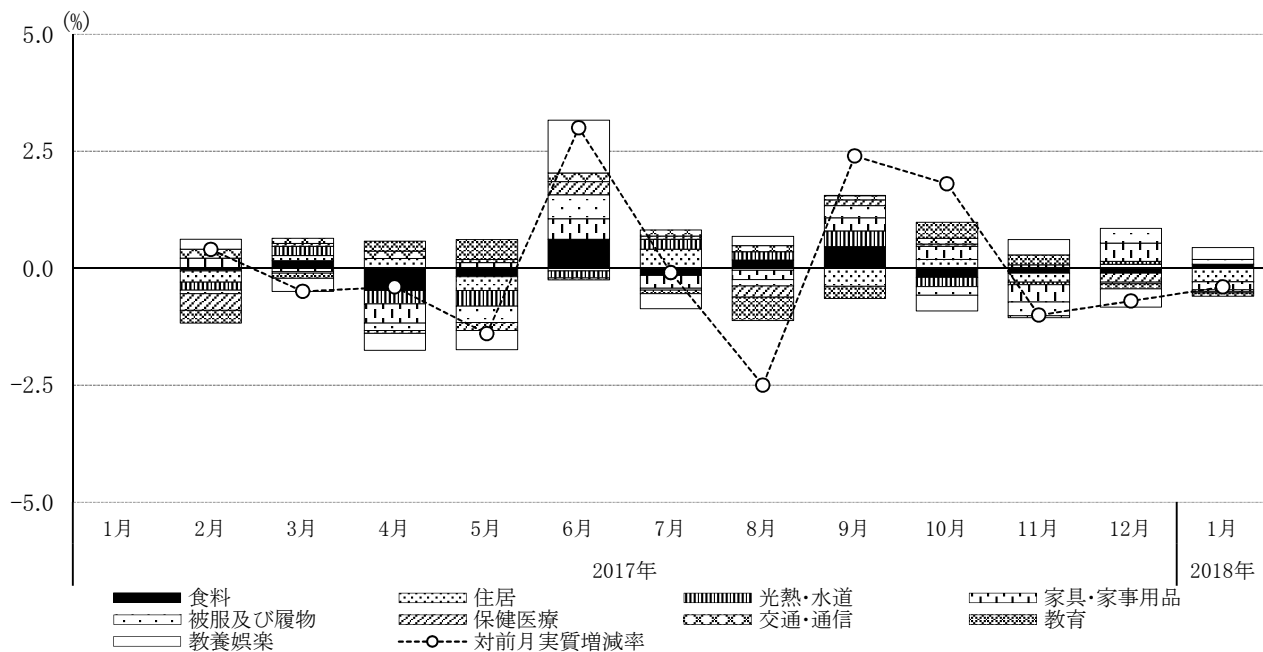
※分布調整値について

総世帯及び二人以上の世帯の消費支出の推移には、世帯構造（年齢や人数など）の変化の影響が含まれます。分布調整値は、世帯主の年齢階級の分布と世帯人員の分布を基準年で固定して算出した世帯消費動向指数で、これらの変化の影響を除去した消費動向を示します。

②総消費動向指数（CTIマクロ）

我が国における世帯全体の消費支出総額（GDP統計の家計最終消費支出に相当）の推移を推測する指数です。当月の消費支出総額について基準年（2015年）の消費支出総額の平均月額を100とする指数で表しています。毎月の家計調査結果（総務省統計局）、商業動態統計調査結果（経済産業省）及び第3次産業活動指数（経済産業省）の動向から、季節調整済みの家計最終消費支出に相当する消費支出総額の推移を時系列回帰分析によって推測しています。世帯消費動向指数と同じく消費の動向を示す指数ですが、推計対象が異なり、世帯数の増減の影響が含まれるため、世帯消費動向指数とは異なる動きを示します。

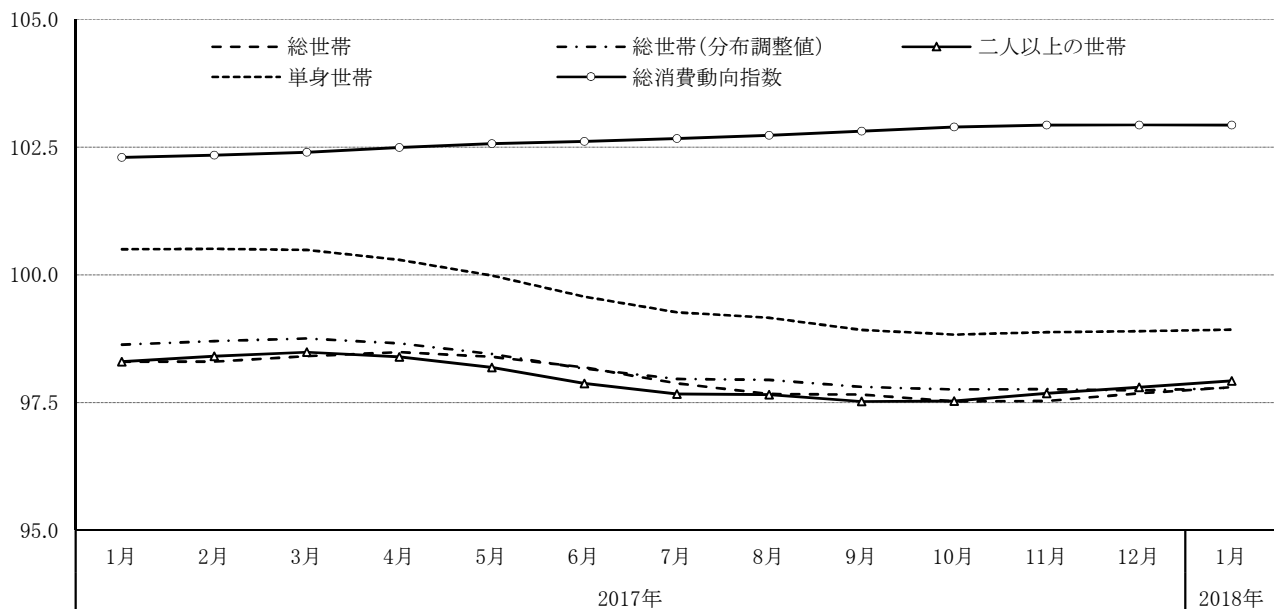
◎ 世帯消費動向指数(総世帯・季節調整値)の対前月実質増減率及び寄与度



	対前月 実質増減率	寄与度								
		食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽
2018年1月										

注 10大費目のうち「その他の消費支出」については、対前月実質増減率の寄与度は算出していません。このため、他の9費目の寄与度の合計は対前月実質増減率とは一致しません。

[参考] 傾向推計値(実質) - 世帯消費動向指数・総消費動向指数



	2017年												2018年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
世帯消費動向指数														
総世帯														
分布調整値														
二人以上の世帯														
単身世帯														
総消費動向指数														

注 傾向推計値とは、原数値から季節要素及び各月の不規則変動を除去した指数である。算出にはセンサス局法(X-12-ARIMA)を用いている。各月の値は、最新月の値によって変化し得ることに留意されたい。

消費動向指数（CTI）の公表予定

年 月	公 表 月 日
2018年1月分	2018年3月9日(金)
2月分	4月6日(金)
3月分	2018年1～3月期平均 5月8日(火)
4月分	6月5日(火)
5月分	7月6日(金)
6月分	4～6月期平均 8月7日(火)
7月分	9月7日(金)
8月分	10月5日(金)
9月分	7～9月期平均 11月6日(火)
10月分	12月7日(金)
11月分	2019年1月11日(金)
12月分	10～12月期平均及び 2018年平均 2月8日(金)
2019年1月分	3月8日(金)
2月分	4月5日(金)

(注) 原則として、公表時刻は8時30分です。

CTIの系列と利用可能な時系列	
消費動向指数 (CTI)	
○世帯消費動向指数	
基本系列	利用可能な時系列
<ul style="list-style-type: none"> ・総世帯 うち勤労者世帯 ・二人以上の世帯 うち勤労者世帯 ・単身世帯 	<ul style="list-style-type: none"> 月:2017年1月～、四半期平均:2002年1～3月期～、年平均:2002年～ 月:2002年1月～、四半期平均:2002年1～3月期～、年平均:2002年～ 月:2017年1月～、四半期平均:2002年1～3月期～、年平均:2002年～
調整系列 (分布調整値)	
<ul style="list-style-type: none"> ・総世帯 うち勤労者世帯 ・二人以上の世帯 うち勤労者世帯 	<ul style="list-style-type: none"> 月:2017年1月～、四半期平均:2017年1～3月期～、年平均:2017年～
○総消費動向指数	月:2002年1月～、四半期平均:2002年1～3月期～、年平均:2002年～

〈内容に関する問合せ先〉



総務省統計局統計調査部
消費統計課消費指標係

電 話 0 3 (5 2 7 3) 1 0 1 4

F A X 0 3 (5 2 7 3) 1 4 9 5

- ・消費動向指数ホームページ

URL未定

- * この冊子は、次のURLからダウンロードできます。

URL未定

- ・政府統計の総合窓口 (e-S t a t)

<https://www.e-stat.go.jp/>

消費動向指数の
最新情報はこちら！

消費動向指数

検索

- ・結果の概要は、統計メールニュースでも配信しています。
お申込みは、統計局ホームページから。

<http://www.stat.go.jp/>

Consumption Trend Index (in English)

URL未定

Summary of the latest month (in English)

URL未定

Portal Site of Official Statistics of Japan (in English)

<https://www.e-stat.go.jp/en/>

統計データを引用・転載する場合には、出典（府省名、統計調査名）の表記をお願いします。